

記入年月日
令和 5 年 4 月 14 日

事務事業名		県農集排事業連絡協議会参画事業					事業区分		担当	
政策体系	政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	050501000119
	総合計画の施策名						0505	下水道の整備	所属課	070101
	政策名						05	快適な暮らしのまちづくり		下水道課
	施策名						05	下水道の整備		課長名
	手段名						01	①下水道の接続		グループ
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し（平成20年度～）			
法令根拠							☞ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	【事務事業の内容】 集落排水処理施設工事工法全般、維持管理費等の基礎知識や国県の情報提供の場である。 【担当者が行う業務の手順】 負担金の支出 工事方法や維持管理に関する知識の習得 【事業費の内訳】 県農集排水事業連絡協議会負担金（58千円）	負担金の納入、総会の出席、講習会、会議の参加

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
負担金の納入、総会の出席、講習会、会議の参加	総会	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	講習会	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
茨城県集落排水事業構成市町村	構成市町村	市町村	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
担当職員的能力、資質向上	講習会参加回数	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	38	20	58		
			事業費計（A）	千円	38	20	58		
	量	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

04年度事業費 実績 (千円)				05年度事業費 予算 (千円)			
事業費の内訳	18 負担金補助及び交付金	20		18 負担金補助及び交付金	58		
			合 計	20		合 計	58

(4) 当該年度の実施内容 ※年度ごとに事業内容を記入する	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
	負担金の支払い事務	負担金の支払い事務	負担金の支払い事務

事務事業名	県農集排水事業連絡協議会参画事業	事務事業No.	50501000119	所属課	下水道課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農業集落排水開始当初から運営や技術や経営の提供を受けるために加入している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている 農業集落排水事業を運営していくためには、職員の知識向上や情報を得ることは必要である。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である 農業集落排水事業の円滑な運営をしていくためには、情報を得られ妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない 施設管理上で情報の不足となる。管理運営に支障をきたす。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 研修の機会や情報交換の場が得られない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性ありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	☒ 余地がない 他に手段がない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削除余地（成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない 協議会で定められた負担金額であるため、削減はすることができない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である 協議会での負担金納入根拠が適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	情報を活用している。																		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向 上 維 持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低 下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上 維 持		○		低 下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向 上 維 持		○																	
	低 下																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 ☒ ⑨																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出		確認欄	